

# 令和2年度事業報告書

認定NPO法人TSUBASA

## 1 事業の成果

令和2年度に力を入れて取り組んだ事業は次の通りでした。

- ① バードライフアドバイザー認定講座（以下BLA）2級のオンライン化
- ② オンラインでのセミナー・イベントを多数実施
- ③ 愛鳥塾100回記念講演の開催
- ④ 新型コロナウイルスの感染防止対策

### 【成果】

- ① コロナ禍により対面でのセミナーが難しくなったことを受け、BLA2級を初のオンライン開催にて実施いたしました。BLAのオンライン化はこれが初の試みとなります。これにより受講者は自宅から参加できるため新型コロナの感染拡大防止につながり、また遠方等が理由で今まで参加が困難だった方々が容易に受講できるようになりました。しかし一方で、オンラインセミナーはどうしても対面に比べ、講師と受講者がコミュニケーションをとりづらい点が課題だと感じました。
- ② 同じく新型コロナの影響で、予定していた様々なイベント等（TSUBASA20周年感謝祭、愛鳥祭、同鳥会、バードランなど）を中止せざるをえませんでした。新たな工夫を思考錯誤しながら、オンラインに切り替えて様々なセミナー等を実施しました。
- ③ 2020年に愛鳥塾が100回目を迎え、記念となる講演イベントを企画、開催しました。前半は毎年恒例の1年間の活動報告「TSUBASAフォーラム」、後半は代表やスタッフ、そしてゲストをお呼びしての「100回記念愛鳥塾」として、画面を通して非常に多くの方々にご参加いただくことができました。
- ④ 新型コロナ感染防止対策として、以下のことを実施しました。
  - ・施設見学とバードランを全面中止、里親会の縮小
  - ・ボランティアの受け入れ休止や縮小
  - ・室内の換気、職員の検温、昼食の席の分散など三密防止を徹底、一部職員の時差出勤など
  - ・2班体制の試験的導入
  - ・コロナ禍でのTSUBASAの活動に焦点を当てた回覧板の作成

施設見学の中止やボランティアの受け入れ休止により、鳥達がスタッフ以外の人と接する機会が大きく減少しました。鳥達の精神的なケアも課題の一つとなり、おもちゃ作りやトレーニング等を積極的に行うことで問題行動や毛引きの予防に努めました。

また、2班体制は万が一スタッフの中で感染者が出て鳥達のお世話に支障が出ないよう、飼育員を2班に分け交代で出勤する仕組みを作りました。実際に2週間ほど試験的に導入していましたが、改善点は多々あるものの不可能ではないことがわかり、万が一の時には本格的な導入も検討しています。

## 2 事業の実施に関する事項（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
--------	------	------	------	--------	--------------	-------------

(1) 鳥類適正飼養 に関する教育 啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛鳥塾</li> <li>・セミナー・フォーラム・シンポジウム</li> <li>・バードライフアドバイザー</li> </ul> 認定講座3級、2級 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット設置、季刊誌の作成等</li> </ul>	通年	埼玉県 新座市 及び全 国（オ ンライ ン含 む）	9名	全 国 の 愛 鳥 家 ・ 動 物 保 護 に 関 心 を 持 つ 方	1247 名	9,156
(2) 鳥類の保護 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親会（MTB）開催</li> </ul> ※7月23,24,25,26日、 10月22,23,24,25日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・レスキュー引き取り事業等</li> <li>・鳥の飼育業務</li> </ul>	通年 （引き 取り・ 飼育業 務） ※MTB は左記 に	埼玉県 新座市 及び全 国（引き 取り）	11名	全 国 の 愛 鳥 家	48 名	18,430
(3) 鳥類飼 育、公衆衛生 に関する出版 物刊行事業	飼鳥のペレット読本 鳥種別リーフレット	通年	埼玉県 新座市	8名	獣医 師他	3677 名	176
(4) 鳥類の 飼養・疾病・ 食餌に関する 調査・研究・ 開発事業	健康管理に係る食餌、 気温の調査	毎日	埼玉県 新座市	9名	全 国 の 愛 鳥 家	—	—
(5) 青少年 に対する動物 愛護精神啓蒙 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れ</li> <li>・特別授業</li> </ul>	随時	埼玉県 新座市	9名	学 生 一 般	32 名	—
(6) 国内外 に於いて鳥類 のおかれてい る環境の現況 視察事業	令和2年度は活動実績 なし	—	—	—	—	—	—
(7) ペット 用品、飼料及 び装身具の売 買、製造、及 び 輸出入業務	鳥の餌 おもちゃなどの販売	随時	埼玉県 新座市	8名	施 設 来 訪 者	534 名	1,221
(8) 動物病院 施設及び動物宿	令和2年度は活動実績 なし	—	—	—	—	—	—

泊施設の経営							
(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業	・カレンダー ・コーズリボン ・雑貨など	随時	埼玉県 新座市	8名	施設・イベント 来訪者	72名	85

(2) その他の事業 なし

### 3 各事業の活動内容等

(1) 事業名 鳥類の適正飼養に関する教育啓蒙事業

1：バードライフアドバイザー3級認定講座

開催地、開催日

東京：1/26、7/26、31、10/17、11/29

大阪：1/17、18、11/6、8

愛知：7/24、10/18

熊本：10/3

福岡：10/2

広島：10/10

北海道：8/8

宮城：7/18

高知：7/11

合計 17回 受講者 413名

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）

内容：日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である

「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えしました。

2：バードライフアドバイザー2級認定講座

開催地、開催日（講座受講は1度の受講で2日連続講義）

オンライン開催：10/31・11/1

合計 1回開催（2日間）

受講者 31名

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）

講師：眞田靖幸先生・直子先生（小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL）、石綿様（ALETTA代表）、

木村様（ナチュラリスト/東京都鳥獣保護管理員）、

小柳様（小鳥の病院BIRDHOUSE 看護師）、青木先生（あきくさ法律事務所 弁護士）

内容：日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である

「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に2級のテーマ「鳥と私と貴方が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動と3級より掘り下げた内容を専門講師と共にお伝えしました。

3：セミナー等のイベント（一部を除きBLA2級スキルアップ対象セミナーを兼ねる）

開催地：東京、埼玉、大阪、高知、宮城、愛知、北海道、福岡

合計 19 回開催

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）・涌井（NPO法人TSUBASA理事）

望月（NPO法人TSUBASA理事）・加藤（NPO法人TSUBASA職員）

柴山（NPO法人TSUBASA職員）

内容：日々更新される鳥達の飼い方の最新情報を

常に取り入れる事を目的としています。

2 級は更新制で、BLAポイント対象のセミナー等のイベントに

3 年間で 20 ポイント分、参加する必要があります。スキルアップセミナーは、

ポイントが取得できる対象となります。

イベント名（一部抜粋）

「愛鳥塾 100 回記念講演（オンライン開催）」

「第 17 回TSUBASAシンポジウム（オンライン開催）」

「ご当地オンライン愛鳥塾（オンライン開催）※」他

※2020 年に初めて開催した「ご当地オンライン愛鳥塾」は、地域限定の勉強会です。

現地での開催が困難な今、オンラインでも今まで開催してきた愛鳥塾のように、同じ地方の愛鳥家さん同士が交流し繋がりをもてるイベントにすることを目指しました。

#### 4：その他勉強会等イベントの開催

上記以外でも、以下のイベントを主催あるいは参加しました。（時系列）

「行動への理解とトレーニングのスキルアップのためのワークショップ」主催

「鳥類臨床研究会（2 月現地開催）」出展

「GWミニ愛鳥塾（オンライン開催）」主催

「あにまるアート&グッズフェスタ(松坂屋 主催)」パネル出展

「鳥類臨床研究会（12 月オンライン開催）」動画の出展

#### (2) 事業名 鳥の保護事業

保護するだけにとどまらず、新しい里親を探す活動も含まれます。

##### 1：TSUBASAで暮らす鳥の里親探し

・里親が決まった数：計 25 羽

内訳：ヒメコンゴウインコ（1 羽）/コキサカオウム（1 羽）/

アカビタイムジオウム（2 羽）/コバタン（2 羽）/コミドリコンゴウインコ（1 羽）/

オキナインコ（1 羽）/アオメキバタン（1 羽）/セキセイインコ（9 羽）/文鳥（1 羽）

/

オカメインコ（2 羽）/ヨウム（1 羽）/ワカケホンセイインコ（1 羽）/

コザクラインコ（1 羽）/十姉妹（1 羽）

・鳥の里親会（MTB:Meet the bird）開催

普段、施設で暮らす鳥達の里親会。毎月開催を目標としていますが

2020 年は新型コロナウイルスの影響で開催日数が大幅に少なくなりました。

感染対策を徹底しつつ、参加人数の制限や説明会を動画で配信するなどの

対策をしたうえでの開催となりました。

里親会参加者数：約 26 名(初申し込み者総数+複数参加者各会 2 名計算)

開催日：7/23, 24, 25, 26、10/22, 23, 24, 25

2：外部からの鳥の引き取り：22 件、34 羽の鳥を引き取りました。

2020 年のレスキュー案件はありませんでした。

(レスキュー：飼い主不在/事前健康診断ができない/書類が出せない/緊急性が高い)

9 件 13 羽は、高齢者の飼育困難、死亡により。

3 件 11 羽は、インコ由来の呼吸器疾患、喘息、アレルギーにより (年令問わず)

3 件 3 羽は、家庭都合 (引っ越し、飼育放棄) により。

5 件 5 羽は、高齢ではない飼い主の病気により。

2 件 2 羽は、鳥の問題行動により。

3：鳥のお世話に関するボランティア

日時：毎日 9:00~16:00 (時間はボランティア様選択制)

延べ人数：計 338 人

(新型コロナの影響で 4~6 月と 12 月は募集休止、

7~11 月は徒歩または自家用車で来られる方のみに募集を縮小)

(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業

1：鳥類獣医師の集まりである「鳥類臨床研究会」にて作られた情報をもとに、鳥の種類別のリーフレットを作成販売しました。

2：飼鳥のペレット読本

昨年に引き続き、小鳥の病院 BIRDHOUSE 院長眞田直子先生に執筆していただいた

書籍の販売を行いました。愛鳥家の方はもちろんのこと、

獣医師の集まるイベントなどでの販売、病院への卸販売も行いました。

令和元年に新たに改訂版を発行しましたが、概ね好評との御意見を頂きました。

(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査研究、開発事業

毎日の施設の鳥達の健康管理を通して、飲水量、糞便検査、血液検査、気温の変動による体調の変化などをチェックしました。それに加え、発情抑制やトレーニングの成果など含めて鳥達の飼養をする中で得られた学びを愛鳥家の方々に愛鳥塾やブログにてフィードバックをしました。

(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動

学校からの依頼により実習生を随時受け入れ、保護施設の清掃をはじめ飼い鳥との接し方、保定、治療や看護について、実践的な学びの場を提供している。

【令和 2 年度研修の受け入れ並びに、講義を行った学校】

東京コミュニケーションアート専門学校、埼玉動物海洋専門学校、

日本ペット&アニマル専門学校

(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業

→令和 2 年度は実績なし

(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務

鳥のための用品 (ケージ、餌、おもちゃ等) が該当します。

鳥たちと愛鳥家の皆様のためにお勧めできる餌、おもちゃなどの販売を

実施しました。また、時間のあるお客様にはご注文いただいた商品の取り寄せ販売も実施いたしました。

(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営  
→令和2年度は実績なし

(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業  
鳥を飼う方向けの用品（飼育書等）が該当します。  
TSUBASAを広く普及するための雑貨（コースリボン）、カレンダーなど

#### 4 各種メディアでの活動内容の報道実績について

- (1) 北海道新聞
- (2) ラジオ「鈴木実穂のonlyわん！」（FMひがしくるめ）
- (3) 『ミラクルラブリー感動のどうぶつ物語』（西東社）
- (4) 九州産業大学 在学生からの取材
- (5) 武蔵野大学 在学生からの取材

#### 5 会員数、寄附者、ボランティアなど

正会員	:	328人
賛助会員	:	208人
法人会員	:	0団体
名誉会員	:	19人
寄附者	:	延べ1,471人
鳥のスポンサー	:	延べ355人
鳥のお世話に関するボランティア	:	延べ人数：計338人
プロボラなど	:	7名

また、募金箱への募金、支援物資の提供（ウイッシュリスト含む）、古本の提供（きしゃぼん）、支援の羽の提供、募金箱の設置、リーフレットの設置、鳥達のおもちゃ作り、支援を目的としたイベントの開催、動物愛護イベント等での啓発発動、SNS等によるPRなど、様々な形でご支援を頂きました。